

平成 30 年度消費生活相談状況の概要

1 件数 ⇒ 3年連続の増加

県内の相談窓口寄せられた相談件数は、県、市町合わせて9,122件（前年度比73件、0.8%増）となり、3年連続の増加。

内訳は、県センター3,081件（33.8%）、市町窓口6,041件（66.2%）。

市町への相談件数が過去最多となり、住民に身近な市町窓口の整備拡充が進んでいる。

2 年代 ⇒ 60歳以上の方からの相談が4割超

70歳以上の方からの相談が2,240件（24.6%）と最多、次いで、60歳代が1,622件（17.8%）と続く。

3 内容等 ⇒ 架空請求を含む「商品一般」が2年連続最多、インターネット関連の相談が続く

- （1）商品・役務別では、架空請求はがきを含む「商品一般」が、前年度比22.1%増の2,241件（24.6%）と最多。次いで、SMS（ショート・メッセージ・サービス）を利用した架空請求を含む「デジタルコンテンツ」（インターネットを通じて得られる情報）が860件（9.4%）と続く。
- （2）架空請求だけを見ると、1,982件となり、前年度（2,297件）から減少したものの、依然高水準。
- （3）販売購入形態別では、インターネット通販の普及等を背景に通信販売の相談件数が2,691件（29.5%）で最多。店舗購入が1,790件（19.6%）と続く。